

# 2016年3月期 決算説明資料

菊水電子工業株式会社  
[www.kikusui.co.jp](http://www.kikusui.co.jp)



多機能直流電子負荷装置  
PLZ-5Wシリーズ

# 目次

会社紹介(事業概要)

P3~

2016年3月期 業績概要(連結)

P12~

2017年3月期 業績予想(連結)

P23~

今後の事業戦略

P25~

# 会社紹介(事業概要)

# 会社紹介(事業概要)

## ● 会社概要(2016年3月末現在)

社名(銘柄コード)	菊水電子工業株式会社(6912)	
設立	1951年(昭和26年)8月8日	
資本金	22億125万円(3月決算)	
発行済株式数	9,900,000株(1単元株数100株)	
事業内容	各種電子計測器・産業用電源装置・ ソフトウェアの設計、製造、販売及び輸出入	
大株主 (自己株式は含まず)	菊水取引先持株会	10.14%
	小林一夫	6.21%
	菊水電子工業従業員持株会	5.17%
	株式会社みずほ銀行	4.27%
	小林寛子	4.11%
	日本生命保険相互会社	3.57%
	ケル株式会社	2.61%
	株式会社三菱東京UFJ銀行	2.54%
	山崎万希子	2.40%
橋本幸雄	2.23%	
代表者	代表取締役社長 小林一夫	
従業員数 (当社グループ)	286名(2016年3月末現在) []は前年比増減	
	研究開発:	73名 [△2]
	生産・購買:	81名 [△7]
	営業:	95名 [+4]
	管理:	37名 [+6]
主要納入先	防衛省、株式会社日立製作所、株式会社東芝、 三菱電機株式会社、日本電気株式会社、 トヨタ自動車株式会社、株式会社デンソー	



# 会社紹介(事業概要)

## ● 国内外拠点・関連子会社



●は海外代理店

### 国内拠点

本社・技術センター

富士勝山事業所(製造拠点)

営業所:横浜、仙台、さいたま、名古屋、吹田、福岡(出張所)

### 関連子会社

フジテック株式会社(山梨県南都留郡富士河口湖町)  
1986年6月設立 連結 出資比率:75%

KIKUSUI AMERICA, INC. (米国カリフォルニア州サンタクララ市)

2004年10月設立 連結 出資比率:100%

菊水貿易(上海)有限公司(中国 上海市)  
2006年6月設立 連結 出資比率:100%

# 会社紹介(事業概要)

## ● 沿革

**1951**  
昭和26年

株式会社菊水電波設立  
8月8日、東京都大田区高津にて  
資本金30万円、役員4名、従業員6名で発足  
主要製品はラジオ用ダイヤル

取締役社長 小林 隆  
(1950年入社、31歳)

取締役 小林 隆  
取締役 小林 隆  
取締役 小林 隆

創業時メンバー  
小林正樹 (取締役)、小林 隆 (取締役)、菊水栄造 (取締役)  
渡辺正洋 (取締役)、一柳敏郎、広瀬 隆夫

**1957**  
昭和32年

ダイヤルから  
測定器メーカー菊水へ  
計測器がダイヤルの売上を上回る  
OEMのトランジスタラジオも生産

乾電池ディケード専用機  
CRC-39A  
300kHz・4端子形式  
知れわたる標準製品であった

ロングウェーブTRラジオ  
TR-504  
OEM製造していた  
トランジスタラジオ

**1961-62**  
昭和36~37年

菊水電子工業株式会社  
へ社名変更  
東京都大田区高津  
資本金1億2000万円  
従業員100名

オーディオ・プロトタイプ  
計測器の生産  
オーディオ・プロトタイプ  
計測器の生産  
オーディオ・プロトタイプ  
計測器の生産

**1966-68**  
昭和41~43年

第一次躍進の年  
計測器の生産  
計測器の生産  
計測器の生産

**1971-74**  
昭和46~49年

創立20周年  
第一次躍進の年  
高品質、低価格、迅速な開発  
電子計測器の導入

**1981-82**  
昭和56~57年

米空軍との大型発注  
オシロ 7160形 (23機) 発注  
F100搭載用エンジン用  
計測器の納入  
品質管理体制

毎日新聞  
計測器で米軍の一歩先

**1985-88**  
昭和60~63年

オシロスコープCOM3000シリーズ  
グッドデザイン産業機械部門大賞を受賞  
オランダに「菊水ヨーロッパ」を設立  
英国マルコーニ・インストルメンツ社と  
日本総代理店契約締結

計測器業界初の快挙!  
グッドデザイン産業機械部門  
大賞を受賞した  
オシロスコープ  
COM3000シリーズ

オシロスコープ COM7000シリーズ  
営業が伸びることも高画質だけで  
どんどん注文が舞い込んだヒット製品

**1989-91**  
平成元~3年

株式会社店頭公開  
西東京営業所 開設  
専用物流会社  
ケイアールシー株式会社設立

1991年11月  
株式を店頭市場に新規公開  
公募による新株発行額：750万株  
発行価格：2,330円/1株

1990年10月  
立川市に  
西東京営業所  
開設

株式会社菊水電子工業 (旧菊水電波)  
増資3万円 売上高11億円、従業員数380名であった

**2000-01**  
平成12~13年

ISO14001認証取得  
計測器の生産  
計測器の生産  
計測器の生産

GOOD DESIGN AWARD 2001

**1995**  
平成7年

ISO9001認証取得  
株式会社ホームページ開設  
全国営業拠点をオンライン化

1995年12月22日  
創業25周年記念式典  
ISO9001認証を取得  
登録番号:QA-1130

●ホームページ開設  
●ISO9001認証取得  
●全国営業拠点をオンライン化  
●創業25周年記念式典

# 会社紹介(事業概要)

## ● 事業活動トピックス

＜経営施策＞		2002	＜中国＞		
<p style="text-align: center;">＜新製品＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・KES7000シリーズ(EMC)</li> <li>・KFM203Q(FC)</li> <li>・PWRシリーズ(直流)</li> <li>・PCR-Mシリーズ(交流)</li> <li>・PATシリーズ(直流)</li> </ul>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・KHA1000(EMC)</li> <li>・PLZ6000R(回生負荷)</li> <li>・TOS3200(漏洩電流試験器)</li> <li>・PWR、PCR-Mラインアップ追加</li> </ul>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・PATスマートラック</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・KHA3000(EMC)</li> <li>・PFX2511(バッテリー充放電試験システム)</li> <li>・TOS5300シリーズ(耐電圧・絶縁抵抗試験器)</li> <li>・Milla-E50(電気自動車(EV)急速充電器)</li> <li>・PCR-LEシリーズ(高機能交流電源)</li> <li>・PWXシリーズ(薄型直流電源)</li> <li>・PCR-LE、PWXラインアップ追加</li> <li>・Milla-E20(電気自動車(EV)急速充電器)</li> <li>・TOS9213AS(太陽光パネル用耐電圧・絶縁抵抗試験器)</li> <li>・PLZ-4W(電子負荷)スマートラックの拡充</li> <li>・TOS7210S(PID絶縁試験器)</li> <li>・TOS5200(耐電圧試験器)</li> <li>・PMX-Aシリーズ(小型直流電源)</li> </ul>	<p style="text-align: center;">＜経営施策＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経営改革スタート</li> <li>・ソリューション営業スタート</li> <li>・生産改革(セル生産方式)</li> <li>・開発革新活動(DSUP)</li> <li>・創立55周年記念行事</li> <li>・国内営業所統廃合</li> <li>・創立60周年記念行事</li> </ul>  	<p style="text-align: center;">2002</p> <p style="text-align: center;">2003</p> <p style="text-align: center;">2004</p> <p style="text-align: center;">2005</p> <p style="text-align: center;">2006</p> <p style="text-align: center;">2007</p> <p style="text-align: center;">2008</p> <p style="text-align: center;">2009</p> <p style="text-align: center;">2010</p> <p style="text-align: center;">2011</p> <p style="text-align: center;">2012</p> <p style="text-align: center;">2013</p> <p style="text-align: center;">2014</p> <p style="text-align: center;">2015</p>	<p style="text-align: center;">＜中国＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上海代表処開設</li> <li>・菊水電子(蘇州)設立(生産拠点)</li> <li>・グローバル製品上市(TOS8XXXシリーズ)</li> <li>・大連化学物理研(DICP)技術提携</li> <li>・菊水貿易(上海)設立(販売拠点)</li> <li>・菊水貿易(上海)の分公司統廃合</li> <li>・生産拠点の合理化(菊水電子(蘇州)閉鎖)</li> </ul>	<p style="text-align: center;">＜米国＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キクスイ・アメリカ設立(販売拠点)</li> <li>・グローバル製品上市(PCR-Mシリーズ)</li> </ul>	<p style="text-align: center;">＜欧州＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・欧州代理店網再編…</li> <li>・Electronica 2008出展</li> <li>・Electronica 2010出展</li> <li>・Electronica 2012出展</li> <li>・Electronica 2014出展</li> </ul>

# 会社紹介(事業概要)

## ● ビジネスモデル

当社の独自性

計測技術と電源技術の両方を有していること！

(微小から大電流まで、電気エネルギーを高精度で制御、測定する技術・ノウハウ)



## グローバルに販売展開！

### 電子計測器

電気のモノサシ、産業の「マザーツール」として、家電製品、OA機器、電子製品などの「安全性」や「正確性」の測定・試験に使用されます。近年は、自動車のノイズ耐性(EMC)に関する試験、また電池や太陽光発電素子の絶縁性能試験の測定需要が高まっています。

耐電圧試験器



EMC試験器



### 電源機器

研究開発や製造工場などで、安定した電力(直流・交流)を供給する設備として使用されます。近年は、ハイブリッドカー・電気自動車の評価に必須となる電子負荷装置(電力を消費する装置)、パワーコンディショナーなどの評価に必要な交流電源の需要が高まっています。

直流電源



交流電源

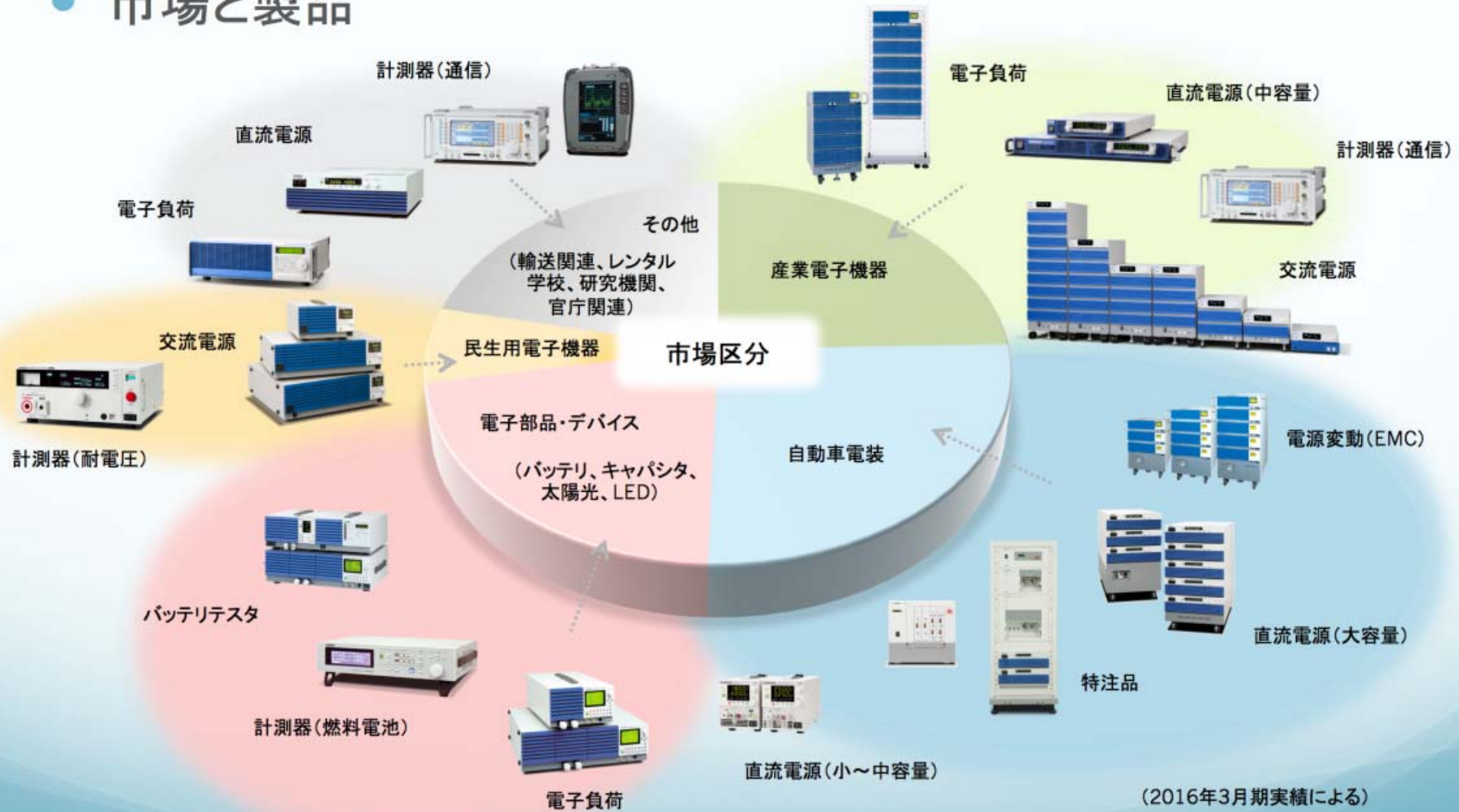


電子負荷



# 会社紹介(事業概要)

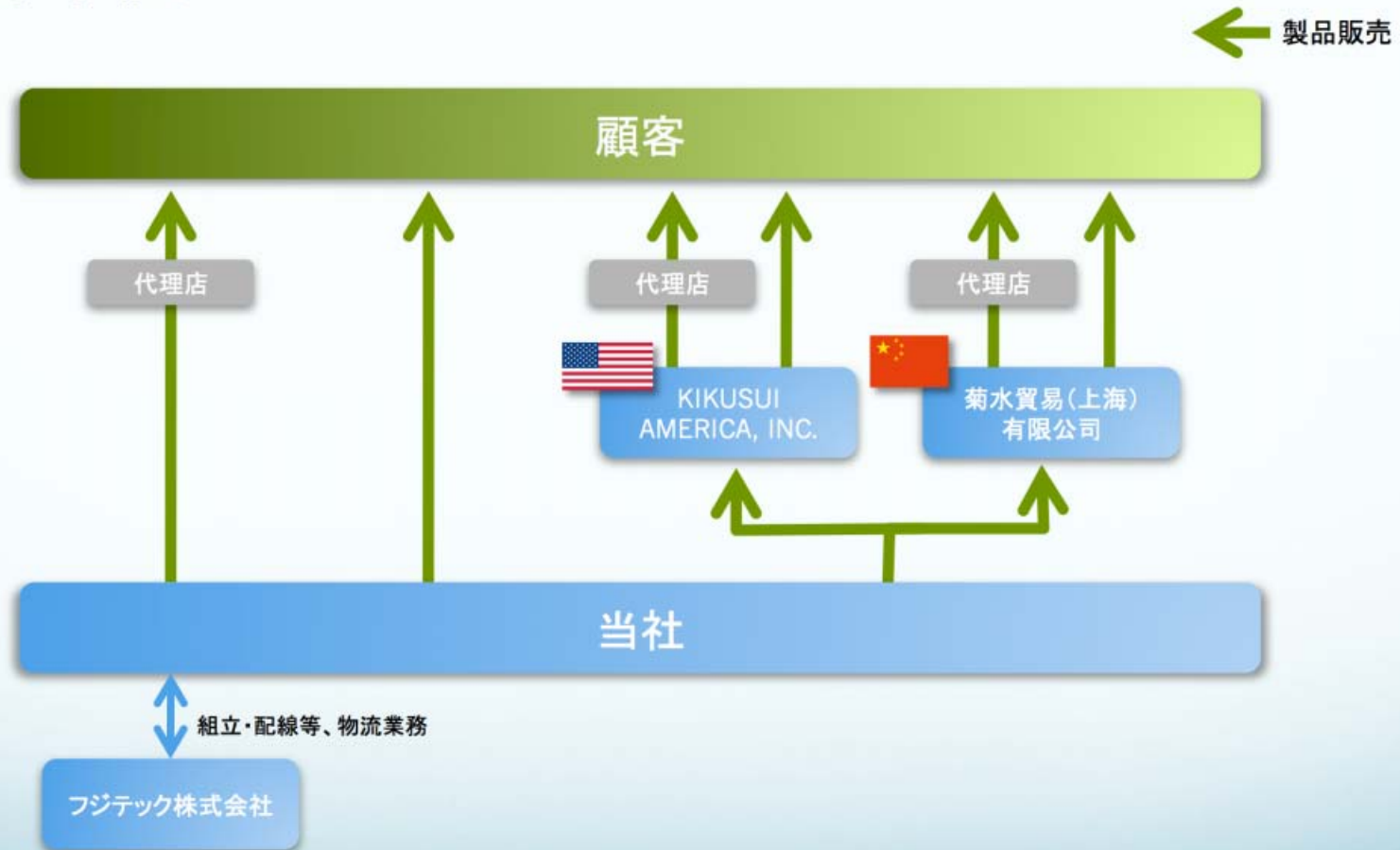
## ● 市場と製品



(2016年3月期実績による)

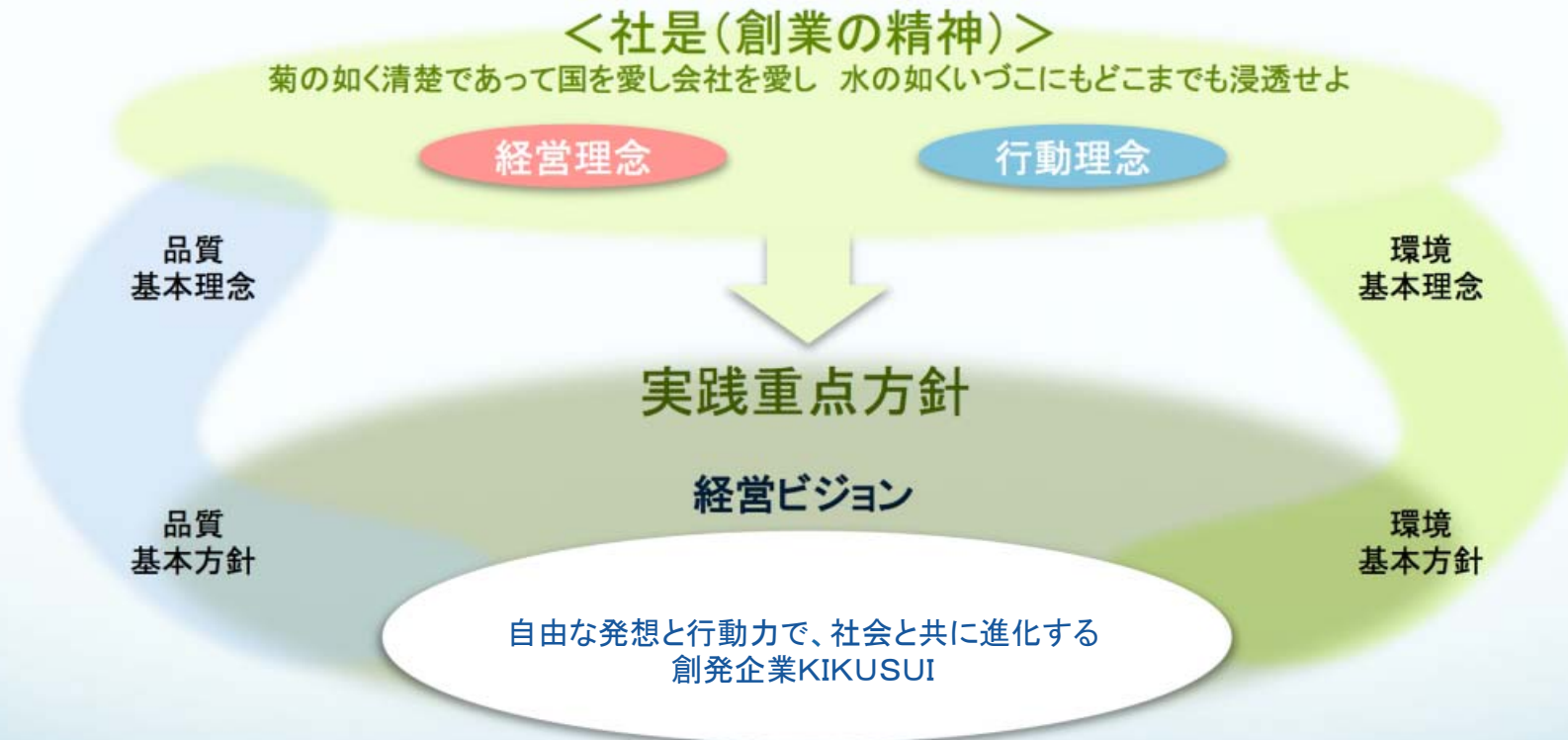
# 会社紹介(事業概要)

- 事業系統図



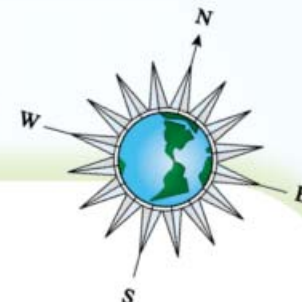
# 会社紹介(事業概要)

- コーポレートステートメント



# 2016年3月期 業績概要(連結)

# 2016年3月期 業績概要(連結)



## ● 決算サマリー

- 売上高・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益

売上高



単位:百万円

経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益



## 経営の概況

当社グループが属する電子計測器、電源機器等の業界においては、世界経済の減速懸念の影響を受け、製造業の設備投資の動きは慎重でありましたが、緩やかに持ち直しつつあります。

このような状況の中、当社グループは引き続き環境・エネルギー関連市場、自動車関連市場及び冷凍空調市場を中心に積極的な営業活動と研究開発活動を行うと共に、原価低減と経費節減にも努力を重ねてまいりました。

以上の結果、

当連結会計年度の売上高は

79億6千6百万円(前年同期比1.8%増)となりました。

一方、損益面は、海外売上高の増加に伴う販売促進費用、運送費用並びに研究開発費等の販売費及び一般管理費が増加したことにより、営業利益は6億1千7百万円(前年同期比7.3%減)

経常利益は6億4千3百万円(前年同期比11.5%減)

となりました。

また、税制改正による実効税率の引き下げに伴う税金費用の減少や法人税等還付税額の計上により、

親会社株主に帰属する当期純利益は

4億5千5百万円(前年同期比3.7%増)となりました。

# 2016年3月期 業績概要(連結)

## ● 損益計算書

	15年/3月期		16年/3月期		前年同期比	
	金額(百万円)	対売上構成比(%)	金額(百万円)	対売上構成比(%)	増減額(百万円)	増減率(%)
売上高	7,826		7,966		139	1.8
売上原価	3,852	49.2	3,903	49.0	50	1.3
売上総利益	3,974	50.8	4,062	51.0	88	2.2
販売費及び一般管理費	3,308	42.3	3,445	43.3	137	4.2
営業利益	666	8.5	617	7.7	△48	△7.3
営業外収益	82	1.1	66	0.8	△15	△19.1
営業外費用	21	0.3	39	0.5	19	92.5
経常利益	727	9.3	643	8.1	△83	△11.5
特別利益	-	-	-	-	-	-
特別損失	-	-	-	-	0	0.0
税金等調整前当期純利益	727	9.3	643	8.1	△83	△11.5
法人税、住民税及び事業税						
法人税等還付税額	286	3.7	187	2.4	△99	△34.7
法人税等調整額						
親会社株主に帰属する 当期純利益	439	5.6	455	5.7	16	3.7
1株当たり当期純利益	51.61円		53.79円			

※単位未満の金額は切捨て、百分率は四捨五入。

※増減率について、前期または当期の数値のいずれかが、マイナスまたは1000%を越える場合は表示を「-」にしております。

# 2016年3月期 業績概要(連結)

## ● 売上高と経常利益

- 売上高: 7,966百万円  
【前年同期 7,826百万円】 **+1.8%**
- 経常利益: 643百万円  
【前年同期 727百万円】 **△ 11.5%**
- 親会社株主に帰属する  
当期純利益: 455百万円  
【前年同期 439百万円】 **+3.7%**

### Point



環境・エネルギー関連市場、自動車関連市場及び冷凍空調市場を中心に積極的な営業活動と研究開発活動を行うと共に、原価低減と経費節減にも努力を重ねてまいりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は79億6千6百万円(前年同期比1.8%増)となりました。

一方、損益面は、海外売上高の増加に伴う販売促進費用、運送費用並びに研究開発費等の販売費及び一般管理費が増加したことにより、経常利益は6億4千3百万円(前年同期比11.5%減)となりました。

また、税制改正による実効税率の引き下げに伴う税金費用の減少や法人税等還付税額の計上により、親会社株主に帰属する当期純利益は4億5千5百万円(前年同期比3.7%増)となりました。

売上高



単位: 百万円

経常利益



# 2016年3月期 業績概要(連結)

## ● 製品群別売上高

- 電子計測器: 1,934百万円  
【前年同期 1,712 百万円】 **+12.9%**
- 電源機器: 5,700百万円  
【前年同期 5,794 百万円】 **△ 1.6%**
- その他: 331百万円  
【前年同期 318百万円】 **+3.9%**

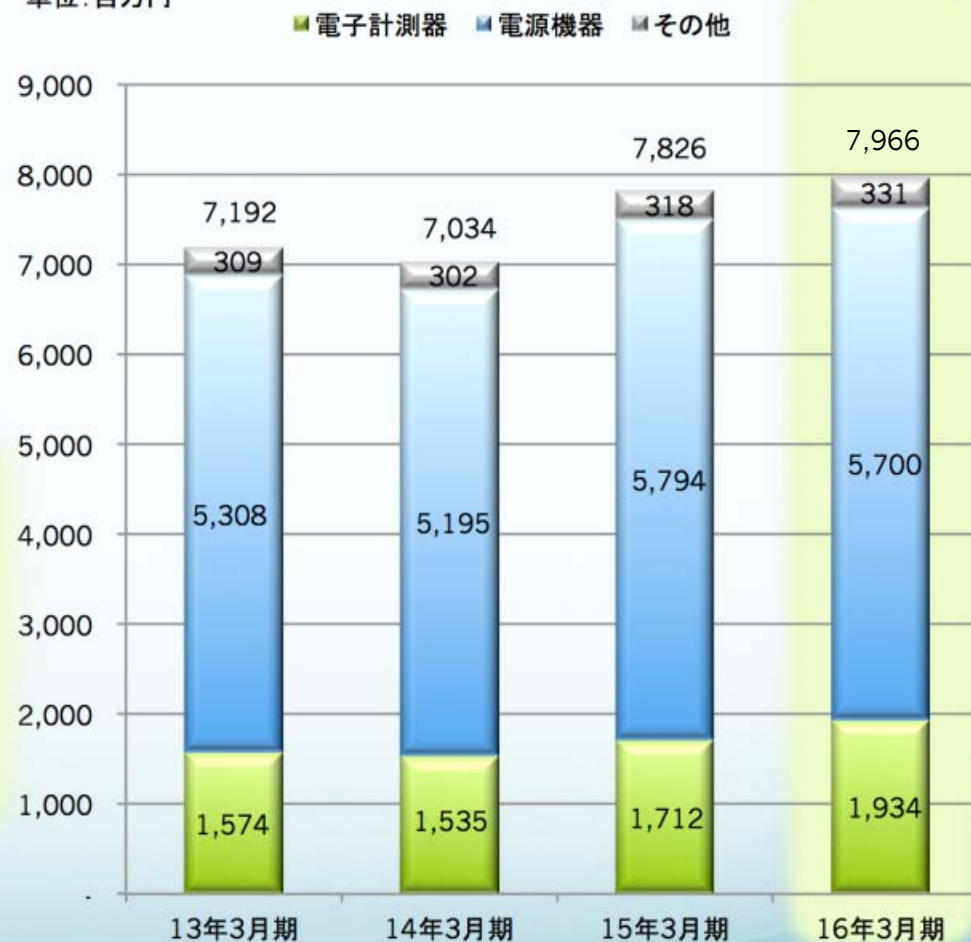
### Point



《電子計測器群》  
航空機用電子機器の測定器、環境自動車関連や家電市場向け安全関連試験機器、車載電子機器用EMC(電磁的両立性)関連試験機器がそれぞれ好調に推移いたしました。

《電源機器群》  
スマートグリッド関連市場、自動車関連市場及び冷凍空調市場用大容量の交流電源や特注製品に動きがみられましたが、国内製造業全般の設備投資に力強さを感じないまま推移いたしました。

単位: 百万円



# 2016年3月期 業績概要(連結)

## ● 製品群別売上高構成比

- 電子計測器: 24.3%  
【前年同期 21.9%】 +2.4%
- 電源機器: 71.6%  
【前年同期 74.0%】 △ 2.4%
- その他: 4.1%  
【前年同期 4.1%】 ±0.0%

### Point



電子計測器の増加及び電源機器の落ち込みにより、電子計測器の構成比率が上昇しました。

- 電子計測器
- 電源機器
- その他

単位: %



## ● 製品群別売上総利益率

- 電子計測器: 48.4%  
【前年同期 50.5%】 △2.1%
- 電源機器: 50.9%  
【前年同期 49.9%】 +1.0%

売上総利益率: 51.0%

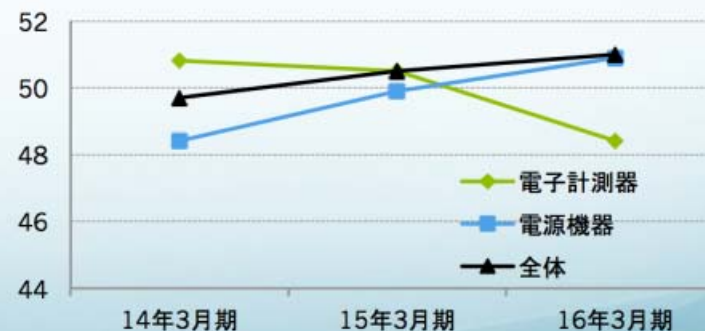
【前年同期 50.5%】 +0.5%

### Point



原価低減の効果により若干改善されました。

単位: %



# 2016年3月期 業績概要(連結)

## ● 海外売上高

- 北米: 323百万円  
【前年同期 304百万円】 +6.2%
- アジア: 1,725百万円  
【前年同期 1,622百万円】 +6.4%
- 欧州: 148百万円  
【前年同期 164百万円】 △ 9.6%
- その他の地域: 28百万円  
【前年同期 15百万円】 +82.2%

**海外販売高合計: 2,225百万円**  
【前年同期 2,105百万円】 +5.7%

### Point

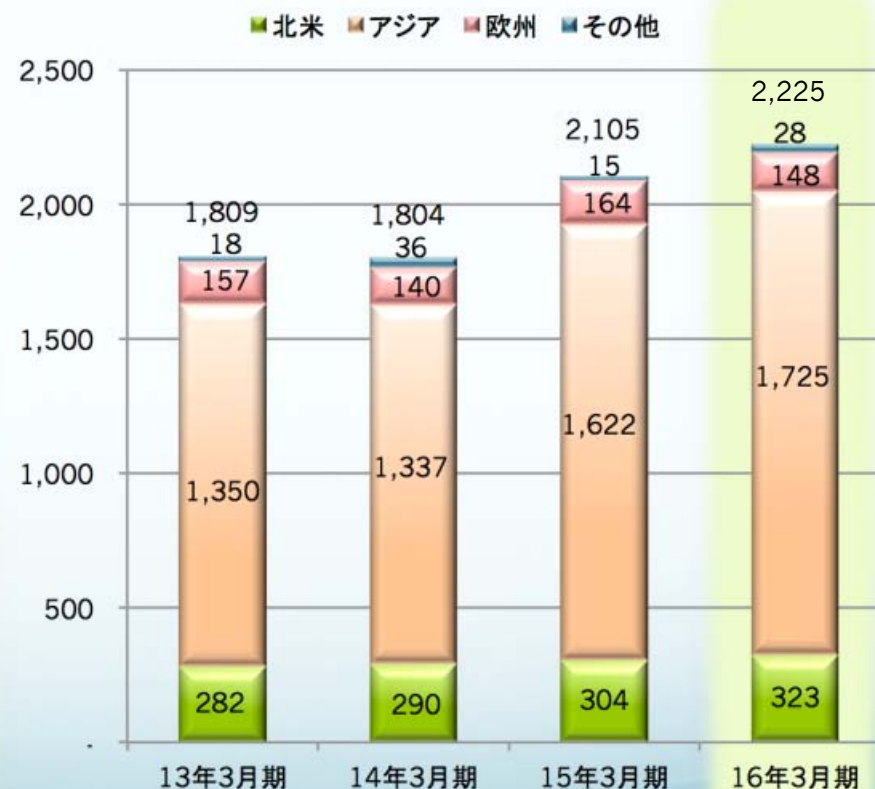


米国では、車載関連市場、特に自動車関連向け電装品、電池の開発用に電子負荷装置が好調に推移いたしました。

欧州では、家電市場向けの交流電源や車載関連市場への電子負荷装置に動きが見られました。

アジアにおいては、中国の車載関連市場や検査機関向けに安全関連試験機器及び直流電源が比較的好調に推移し、韓国では次世代車載部品市場、また、東南アジアでは日系企業や認証機関を中心に、安全関連試験機器、直流電源、電子負荷装置が好調に推移いたしました。

単位: 百万円



# 2016年3月期 業績概要(連結)

- 研究開発投資(対売上高比率)

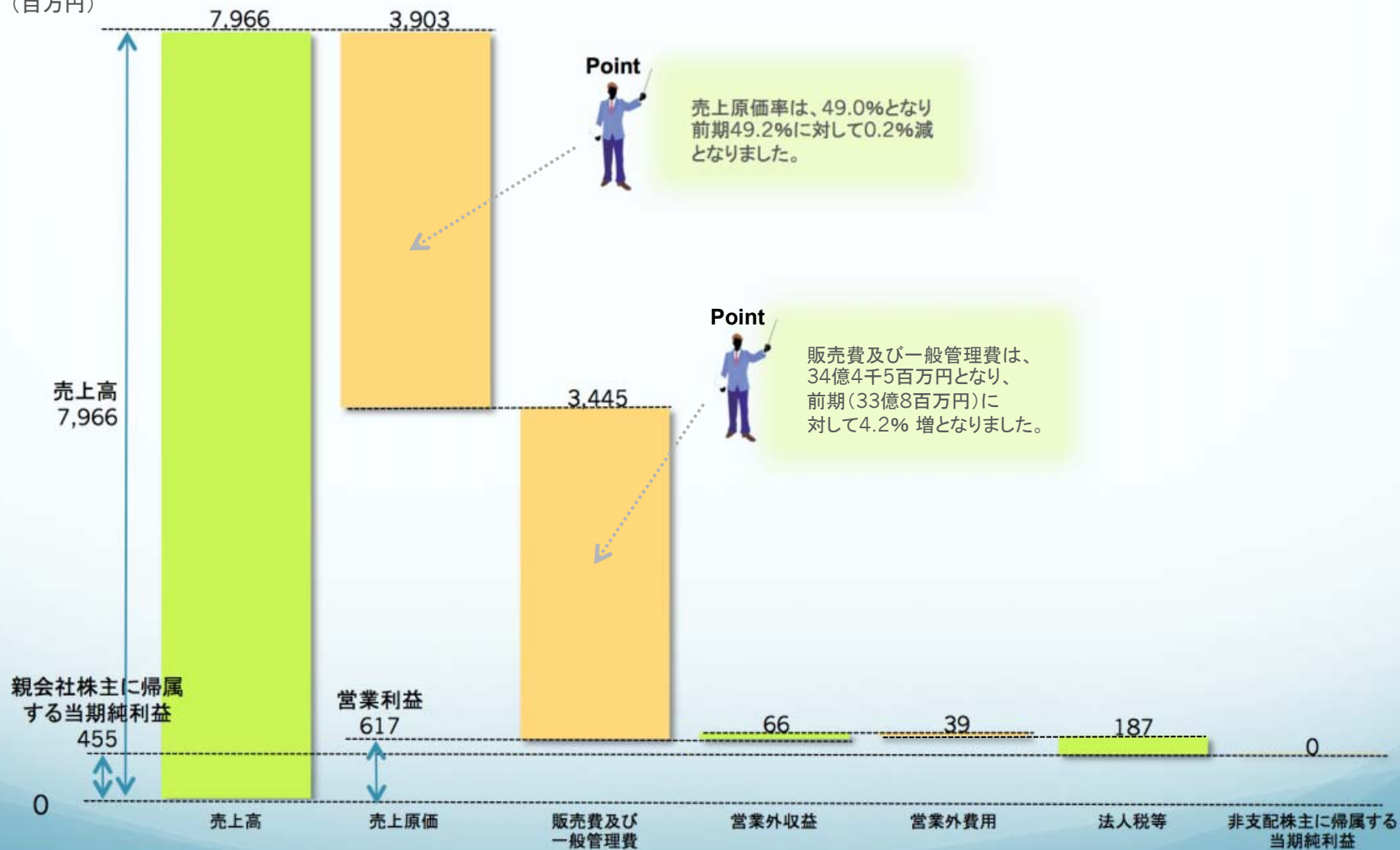
- 987百万円(12.4%)  
【前年同期 950百万円(12.2%)】



# 2016年3月期 業績概要(連結)

## ● 損益の概況

(百万円)



# 2016年3月期 業績概要(連結)

## ● 貸借対照表

単位:百万円

【資産の部】	15/3期	16/3期	増減
流動資産合計	6,884	7,134	249
固定資産合計	4,380	4,052	△327
<b>資産合計</b>	<b>11,265</b>	<b>11,187</b>	<b>△78</b>
【負債の部】	15/3期	16/3期	増減
流動負債合計	1,451	1,463	11
固定負債合計	869	766	△103
<b>負債合計</b>	<b>2,321</b>	<b>2,229</b>	<b>△91</b>
【資本の部】	15/3期	16/3期	増減
資本金	2,201	2,201	0
資本・利益剰余金	6,672	6,941	268
自己株式	△626	△672	△45
その他の包括利益累計額合計	662	452	△210
非支配株主持分	34	35	0
<b>純資産合計</b>	<b>8,943</b>	<b>8,957</b>	<b>13</b>

# 2016年3月期 業績概要(連結)

## ● キャッシュ・フロー

【CF計算書】 単位:百万円	14年/3月期	15年/3月期	16年/3月期	単位:百万円
営業活動によるキャッシュ・フロー	245	628	280	
投資活動によるキャッシュ・フロー	△201	△143	△36	
財務活動によるキャッシュ・フロー	△205	△195	△237	
現金及び現金同等物の増減額	△145	311	△10	
現金及び現金同等物の期首残高	2,665	2,519	2,830	
現金及び現金同等物の期末残高	2,519	2,830	2,819	

### Point



営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益の計上等による資金の増加が、売上債権の増加及び法人税等による資金の減少を上回り、2億8千万円となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得等による資金の減少が、有価証券の売却及び償還による資金の増加を上回り、△3千6百万円となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、自己株式の取得及び配当金の支払い等により、△2億3千7百万円となりました。

現金及び現金同等物は、前連結会計年度の期末残高に比べ、1千万円減少し、28億1千9百万円となりました。



# 2017年3月期 業績予想(連結)

## 2017年3月期 業績予想(連結)

	16年/3月期	17年/3月期		
	当期実績(百万円)	通期予想(百万円)	前期比増減額(百万円)	前期比増減率(%)
売上高	7,966	8,100	134	1.7
営業利益	617	650	33	5.3
経常利益	643	670	27	4.1
親会社株主に帰属する 当期純利益	455	460	5	0.9

	16年/3月期	17年/3月期		
	当期実績(円)	通期予想(円)	前期比増減額(円)	前期比増減率(%)
1株当たり 配当金	22.00	22.00	0	0.0

# 今後の事業戦略

# 今後の事業戦略

## 環境・新エネルギー分野に注力

スマートシティ関連・ホームエネルギーマネジメントシステムなど



アジア(中国, 韓国)を中心に海外市場拡販を強化!

## 本資料における注意事項

本資料は、2016年3月期決算の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は2016年5月13日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し、又は約束するものではなく、今後予告なしに変更されることがあります。

[本資料および当社IRに関するお問い合わせ先]

菊水電子工業株式会社 総務部 IR担当

TEL: 045(593)0200 E-mail: [ir@kikusui.co.jp](mailto:ir@kikusui.co.jp) URL: <http://www.kikusui.co.jp/>